



糸島市立前原小学校 令和6年度

後期学校自己評価のお知らせ

〈ダイジェスト版〉

令和7年2月26日

これは、後期に行った「学校自己評価」結果（ダイジェスト版）です。

学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。これらの評価の結果をふまえて、学校改善に向けた今後の教育活動を進めていきます。

※詳細な評価結果は、ホームページに公開しますので、併せて御覧ください。

1 児童評価と教員評価の結果

【評価方法】 4段階（4：よくできている 3：だいたいできている
2：できていないときの方が多い 1：できていない）

【全体】

教員の評価の多くが前期評価よりも高くなっています。一方、児童の評価のほとんどが前期評価よりも低くなっています。教員は多くの項目について児童の成長を感じているものの、児童は自身の成長を十分感じることができていないようです。

まごころで学ぶ

質問項目	児童	比較	教員	比較
① 「めあて」を自分でつくり、見通しをもって考えたりすることができましたか。	3.13	—	3.14	↑
② 先生の力をかりずに、自分たちだけで15分以上話し合うことができましたか。	2.77	↓	2.39	↑
③ 自分の考えを書いて、学習をふり返ることができましたか。	3.19	↓	2.64	↑
④ ミライシードで、苦手な問題に取り組んだり、新しい問題に挑戦したりできましたか。	2.97	↓	2.75	↑
⑤ タブレットを使って意見を出し合ったり、自分の考えをまとめたりすることができましたか。	2.73	↓	2.25	↑

②「相対話」は教員の評価が前期より0.42ポイント上昇し、全項目の中で最も上昇した項目です。本校が授業づくりで最も力を入れている点で、友達と意見を伝え合うことで考えを広げたり深めたりする授業を行い、児童の表現力と思考力を伸ばす授業づくりに努めています。児童が自分たちで「話し合いたい」と思い、議論するおもしろさを感じることができるような授業になるよう、まだまだ研究が必要です。

えがおでふれあう

質問項目	児童	比較	教員	比較
⑥ 友だちのよさを進んで見つけようと思いましたか。	3.15	↓	2.89	↓
⑦ 命の大切さを考えたり、思いやりのある行動をしたりすることができましたか。	3.36	↓	2.97	—
⑧ 学校のきまりを守ることができましたか。（名ふだ・遊び場・時間など）	3.19	↓	2.97	↑
⑨ 自分から進んであいさつをすることができましたか。	3.20	↓	2.89	—
⑩ 学校や学年・学級をよくするための話し合い活動で進んで考えを出せましたか。	2.81	↓	2.44	—

⑧「きまりを守る」については、教員の評価が前期より0.25ポイント上昇しています。前小スタンダードで取り組んでいる項目などを含め、前小のきまりを意識し、よりよく生活や学習に臨もうとしている姿が見られるようです。

ねばりづよくがんばる

質問項目	児童	比較	教員	比較
⑪ 時間いっぱい、すみずみまでそうじができましたか。	3.44	↓	3.17	↑
⑫ 給食の後片付けをきちんとすることができましたか。	3.53	↓	3.47	↑
⑬ めあてをもって体を動かすことができましたか。（朝のストレッチ等、短なわけんてい など）	3.24	↓	2.94	↑
⑭ 「ゆめかなえノート」で、自分の成長やがんばりをふり返ることができましたか。	3.05	—	2.75	↑

⑭「ゆめかなえノート」は、教員の評価が前期より0.19ポイント上昇しました。児童の思いや願いを理解・把握しつつ児童に問いかけながら関わっていくことをさらに意識する必要があると考えます。

2 保護者評価の結果（抜粋）

*「比較」：前期と比較し、0.1ポイント以上の増は「↑」、0.1ポイント以下の減は「↓」、0.1ポイント未満の増減は「—」

参観授業

【評価方法】 4段階（4：とてもそう思う 3：まあそう思う 2：あまり思わない 1：思わない）

質問項目	結果	比較
(1) 子供たちは、よく発表をしたり、自分の考えを書いたりすることができている。	3.48	—
(2) 子供たち一人一人がよくわかる、できるために、授業が工夫されている。	3.44	↓
(3) 子供たちの教室は、整然としていて、学習に適した環境になっている。	3.40	↓

・どの項目も3.0以上の評価でした。しかし、(2)は0.31ポイント、(3)は0.41ポイント前期より下降しています。全ての子供たちが「楽しい」「学びたい」と思う授業となるよう改善に努めます。
・一方、自由記述において、「声掛けや動画などで分かりやすく教えていた。」「じっくり意味や意図、捉え方が身につくようにされていた。」というものもありました。どの学級でもこのような感想をいただけるよう努めます。

友達との関わり、生活

質問項目	結果	比較
(1) 子供たちは、友達のよいところによく気付いている。	3.05	—
(2) 子供たちは、学校で掃除の取組をしているので、家庭でも身の回りを片付けたり、進んで掃除をしたりすることができている。	2.43	—

・(1)は前期と同値です。家庭での会話でこのような姿を感じていただいていると思います。学校、家庭が共に子供たちを見守っていききたいと思います。
・(2)も前期とほぼ同じ値で、低い値でした。引き続き、自分のできる力を家庭でも実践できるよう機会を作っていただきたいと思います。

自己実現力の育成

質問項目	結果	比較
(1) 子供たちは、学習や生活などいろいろな場面で目標を決めることができています。	2.82	—
(2) 子供たちは、自分が決めた目標に向かって最後まで諦めずに取り組むことができています。	2.91	—

どちらの項目も、大きな上昇ではありませんが、微増しています。後期には、運動会や縄跳び検定など明確な目標を設定する場面があったり、次の学年への進級に向けた活動を意識し目標設定したりすることもあったのではないかと考えられます。子供たちのがんばる姿に励ましの言葉をかけていただきたいと思います。

